

誰もが自分らしく かがやき暮らせる地域を創造します

# 虹の会だより

第28号

発行：社会福祉法人 虹の会



## 理事長のことば



いのうえりじちよう 井上理事長

## 「選んでいただける」法人を目指して

令和3年、新たな年を迎え、各位におかれましては、ご家族お揃いで健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。また、年末から年始にかけての雪や寒の入り以降の厳しい寒波で、日々その対応に追われておられたのではないかと思います。

さて、拡大を続ける新型コロナウイルス感染症の渦中、高島でもしばらく見られなかった感染が、ぽつりぽつりと伝えられるようになりました。皆様方には、ご自身の健康に留意され、感染対策をしっかりとっていただくとともに、関係機関の指示や対応にご理解、ご協力をお願い申し上げます。

また、次年度からは、第2期中期経営計画がスタートします。現在、策定に向けた大詰めの議論を進めているところですが、利用者の皆様に選んでいただける、また自信を持って迎えさせていただける事業所として、役職員とともに研鑽を積み重ねなければならないと改めて感じております。

今後も、「共に生きる」という理念のもと、利用者や市民の皆様の信頼が得られるよう、開かれた風通しの良い虹の会として事業運営を進めてまいりますので、各位のご指導をよろしくお願い申し上げます。

## 新グループホーム

## 新グループホームの名前は「といる」!

新しいグループホームの名前は、現ホームの利用者の皆様や職員からの名称

募集の結果、「といる」に決まりました。

定員が10名であること、入居者の人柄や思い、趣味嗜好がそれぞれ異なった10の個性が集まるということで、十人(住人)十色からヒントを得ています。



「といる」は1月半ば現在、屋根や外壁が張られ、窓、玄関ドアの取り付けも完了しました(写真右上)。建物内では、壁や天井内の配管・配線工事が行われており、令和3年3月の竣工に向けて着々と工事が進められています。



### かんせんしょうはっせい じ しょくいんおうえん は けんきょうてい 感染症発生時における職員応援派遣協定

このたび、高島市障がい者自立支援協議会において「感染症発生時における応援派遣協定書」が作成されました。この協定書は、感染症発生により職員が不足し、入居者等の支援が困難となる場合に、相互が派遣協力を行うことにより、入居者等の支援を継続するとともに、施設の運営継続が図られることを目的としています。

県内においても障がい分野で民間による協定が締結される例はまだまだ少ない状況の中、「必要なサービスを提供し続ける」という強い責任感のもと本協定の締結に至ったことは、市内福祉法人(すぎやまの家、たかしま会、ゆたか会、虹の会)の連携力と推進力のたまものだと考えています。

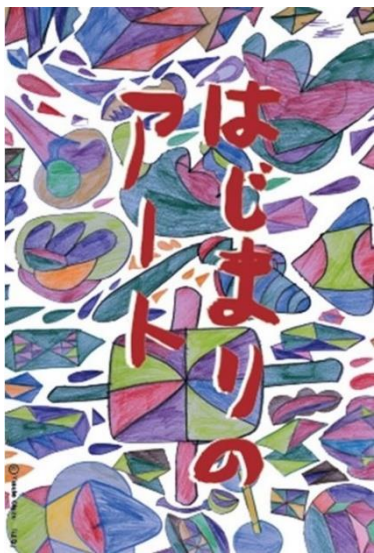
協定に基づき職員を派遣することがないことを祈っておりますが、必要時には迅速に協力してまいります。



### ねん いちど 年に一度のワクワクを！

虹の会「わになろう」で、月2回実施しています「アート活動」。その中で制作された作品をご紹介します、おなじみ「はじまりのアート展」を開催します。

個性的な作品をご覧ください。いただく、元気が出ることまちがちなし！(なお、今回は展示のみでワークショップはありません)



と き: 2021年2月19日(金)～21日(日)  
10:00～16:00  
と ころ: 藤樹の里文化芸術会館 展示室2



### つながるために

業務執行理事  
山下 晏叶子



虹の会では、ホームページのリニューアルを機にフェイスブックをはじめました。

法人内での日々の出来事等をリアルタイムに情報提供していくツールとして、活用していきたいと思っております。地域のさまざまな方々、数多くの方々と「つながる」ことが一つの目的でもあります。

虹の会からの発信を一人でも多くの方に受けとめていただき、虹の会をいつも身近に感じていただけるよう、魅力的な内容発信に努めていきたいと思っております。

ぜひ一度、チェックしてみてくださいね。

アクセスはこちら→

フェイスブック内で「社会福祉法人虹の会」を検索していただいてもOKです。

